



大規模災害に備え遠方自治体と応援体制 愛知県西尾市との災害協定締結

大規模災害発生時は単独自治体のみでの災害対応は困難であり、周りの自治体も同様の被害を受けていることが予想されることから、遠方自治体間で応援体制を充実しようと、牛久シャトー創業者神谷傳兵衛の出身地である愛知県西尾市と「災害時相互応援協定」を締結しました。この協定により、大規模災害発生時に、食料や資機材の提供、職員の派遣、被災者の受け入れなどを支援し合うことができるようになりました。12月26日、西尾市役所で行われた締結式で根本市長は、「防災の準備や対策は行政の大きな課題。両市のノウハウを共有することが市民の安全に繋がります。神谷傳兵衛の縁の力で防災協定に限らず多くの交流を深めていきたい」と話しました。



▲(左から)西尾市 中村健市長と根本市長

全国大会で準優勝！ クッキーズバトンクラブ

第47回バトントワリング全国大会で、牛久市などの子どもたちが所属する「クッキーズバトンクラブ」が準優勝に輝きました。大会には、小学3年生～6年生の8人のメンバーでU-12(12歳以下)の部門に出場。バトンや花輪を使い、クラシックバレエを取り入れた表現が評価されました。大会メンバーのうち、市内在住の5人が、12月16日、市長を表敬訪問。「1位にはなれなかったけれど、練習よりも本番のほうが笑顔で楽しく踊れました」と振り返りました。



寄付 温かい善意ありがとうございます

●牛久市商工会

牛久市商工会が「うしくWaiワイまつり」で、台風19号の被災地支援を目的に災害募金活動を行いました。12月17日、同会から日本赤十字社牛久市地区へ集めた募金10,047円を寄付していただきました。同会の徳生明正会長は「被災地と被災者のためにお役だていただければ」と話しました。



●ガールスカウト茨城連盟第27団

12月25日、ガールスカウト茨城連盟第27団から、「うしくWaiワイまつり」で行ったバザーの収益金2万円を牛久市社会福祉協議会へ寄付していただきました。第27団の皆さんは、「みんなで協力して活動しました。今後も続けていきます」と話していました。



●ボーイスカウト牛久第1団・第4団

12月25日、ボーイスカウト牛久第1団から37,247円を、第4団からは51,126円を、台風15号・19号の被災地支援のために日本赤十字社牛久市地区へ寄付していただきました。これは、市内やイベント会場で募金活動をしたものです。牛久第1団の安倍遙紀さん(小6)は「被災地の復興のために使ってほしいです」と話しました。



市内各所で災害を想定した訓練を実施しました

●牛久警察署・牛久消防署 合同特殊災害対応訓練

11月27日、牛久消防署敷地内において、牛久警察署員と牛久消防署員との特殊災害対応訓練を実施しました。生物剤および化学剤の漏洩等の災害を想定した訓練で、相互の技術確認と連携強化を目的として行い、今回の訓練で災害発生時における対応力の強化に繋がる訓練となりました。今後も関係機関との連携を図り住民の安全に添えるよう努力を重ねてまいります。



1

●地域住民が防災訓練

11月30日に向台小学校において、12月8日に牛久第一中学校において防災訓練を実施しました。この訓練は両校が第二次避難場所となっている行政区等の地域住民を対象としたもので、合わせて744人が参加しました。自宅→集会所→学校まで徒歩で避難したのち、避難所の開設・運営訓練や初期消火訓練、応急救護訓練、ダンボールベットや簡易トイレの組立訓練を行いました。今後も、各地区においてこのような防災訓練を実施しますので、ぜひご参加ください。



2



3

1 牛久警察署と牛久消防署による合同特殊災害対応訓練の様子

2 向台小学校の訓練の様子。班ごとに各種訓練を行いました

3 牛久第一中学校の訓練の様子

年頭に市民の安全を祈念して

令和2年牛久市消防出初式

牛久市消防団と牛久消防署による「牛久市消防出初式」が、1月5日、中央生涯学習センターで行われました。第1部では永年勤続団員の功労者表彰などを行い、第2部で車両の点検などを行ったあと、消防車両32台が市内をパレードしました。冬晴れの中大勢の観客がパレードを見学。子どもたちは牛久市消防団員と牛久消防署員の頼もしい姿に手を振り、「かっこいい、がんばってー」と声援を送っていました。



人命救助に感謝状

牛久消防署で感謝状贈呈

牛久消防署では、12月23日に2件の救急事案における消防協力者に対し、感謝状を贈呈しました。

10月22日、交通事故において男性1人、10月31日、道路上で男性1人が突然倒れ、心肺停止状態になりました。2件の事案とも現場に居合わせた方々が、適切な応急処置と胸骨圧迫を行い、2人とも呼吸、脈拍が再開。1人の方は病院で治療後、後遺症も無く退院され、もう1人の方は退院に向けリハビリ中です。

現場に居合わせた方々による積極的な勇気ある行動により、尊い人命が救われたことに深く感謝します。

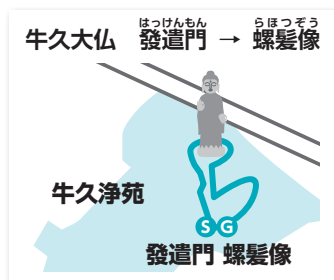


▲(左から)増田佳央里さん、宮本裕仁さん、▲桑名貴広さん
野一色輝さん

牛久を聖火リレーが走ります！

東京2020オリンピック

東京2020オリンピック聖火リレーが、7月5日と6日の2日間茨城県内で実施されます。牛久市内は7月6日(月)に、牛久大仏内と牛久市役所→牛久シャトー→JR牛久駅の2区間で実施されます。東京1964オリンピックの時には、牛久市内で見られなかった「聖火リレー」



を観るチャンスです。市民の皆さんの熱い声援で聖火リレーを盛り上げていきましょう！

※詳細および交通規制等については、後日お知らせします。
問：政策企画課
☎内線1211



市民が市長職を体験

一日牛久市長体験

12月23日、市内在住の田沼不二男さんが「一日市長」として任命され、市役所内で模擬決裁、庁内視察を行った後、FM-UUに出演しました。この企画は、「第37回牛久市民号」の抽選会での特別賞で、当選者が市長職を体験することで「牛久市行政」を身近に感じ、知ってもらうため実施したものです。

田沼一日市長は、市の組織や業務の説明を受けると、「市もさまざまな問題、課題を抱えていると思うが、市民のために苦労や検討を重ねていることが分かった。これからもっと住みよいまちになれば」と話し、また、根本市長とともに出演したFM-UUで、「模擬決裁では判を押すとき緊張して手が震えました。良い経験でした」などと振り返りました。



▲模擬決裁で職員に説明を受ける
田沼一日市長



▲根本市長とともにFM-UUに出演する田沼一日市長

年の初めに牛久のまちを快走

第44回牛久シティマラソン

「第44回牛久シティマラソン」が1月13日に開催され、気持ちのいい陽気の中、3,620人が力走しました。当日は、招待選手の谷川真理さん、(株)小森コーポレーション陸上競技部などのゲストランナーも加わり、牛久のまちは大いににぎわいました。また、最遠隔地からの参加者は兵庫県の方。最高齢参加者賞は男性が塚田進さん(牛久市・86歳)、女性が吉田千枝子さん(牛久市・83歳)でした。



1 晴天の下、市内を駆け抜けるランナーたち



2 車椅子のレースがスタート 3 次々にゴールするランナー

※全参加者の結果は市ホームページのスポーツ推進課ページで公開しています。



各種目優勝者 おめでとうございます

◆10km一般

男子	29歳以下	古和田 響	神奈川大学	0:31:10
	30歳代	駒木根 一弘	土浦自衛隊	0:31:50
	40歳代	伊藤 育生	botchi凸	0:32:47
	50歳代	中川 信明	アステラス製薬	0:35:57
	60歳以上	原 裕一	日立ビルシステム	0:39:08
女子	29歳以下	青木 柚葉	市立柏高等学校	0:38:07
	30歳代	岡野 藍		0:39:18
	40歳代	風見 節子		0:37:36
	50歳代	幸田 昌代	結城RC	0:41:00
	60歳以上	新本 美智枝	茨城マスターズ	0:44:23

◆5km一般

男子	高校生	伊藤 圭音	東洋大牛久	0:14:47
	29歳以下	藤野 滉生	GAZELLE	0:14:59
	30歳代	鴻巣 隼人	チーム寺西	0:15:53
	40歳代	渡辺 祐矢	ウィングAC	0:16:38
	50歳代	下村 勲	美野里クラブ	0:16:31
女子	60歳以上	吉田 正	RUNS	0:17:45
	高校生	中村 実優	土浦日大中等	0:17:32
	29歳以下	櫻井 彩		0:22:07
	30歳代	伊藤田 歩		0:19:22
	40歳代	松本 恭子		0:17:12
	50歳代	藤枝 淳子		0:21:09
	60歳以上	諸岡 ヤヨヒ	もろおか寝具店	0:23:13

◆3km中学生・2km小学生(4～6年生)

中学生	男子	石島 太一	我孫子	0:09:12
	女子	山田 古都音		0:10:41
小学生	男子	石井 琉之介		0:06:58
	女子	加藤 来実	東葛RC	0:06:44

◆10km車イス(15歳以上男女)

佐藤 健	コロナスポーツウェア	0:26:20
------	------------	---------

「壁なき世界」を協働で描く

リトアニアの子どもたちと奥野小児童が交流

奥野小学校の6年生は、リトアニア西部・クライペダ市のサイモンダッハ校とインターネット通話サービス「スカイプ」で交流を図り、協働で壁画の制作に取り組んでいます。ともにSDGsについて学んできた成果を一枚の壁画で表現するもので、テーマは「豊かで壁のない世界」。両校で半分ずつ制作し、奥野小学校の作品には富士山や桜、差別をなくしたいという思いからさまざまな国籍の子どもたちが笑顔で並ぶ様子などが描かれています。現在はリトアニアの子どもたちが壁画を制作中。完成後は、東京オリンピック・パラリンピック会場に設置されます。

これまでの活動を受け、1月17日にはリトアニア共和国のゲディミナス・バルブオリス駐日特命全権大使が奥野小学校を訪問し、子どもたちと交流。大使は体育館で熱烈的な歓迎を受けた後、「遠く離れた子どもたちがこうして繋がることは素晴らしい、これからも続けてほしい」と子どもたちにメッセージを送りました。



1 子どもたちは学習してきたことをもとにデザインを考えました

2 子どもたちと書き初めを体験する大使

3 大使と共にスカイプでリトアニアと交流

美しい地域づくり街づくり

ふれあい美花市民の会 令和元年度の活動

心豊かな潤いのある「美しい地域づくり街づくり」を目指して、市内23団体が活発に活動し、以下の事業に取り組みました。

「牛久市花いっぱい運動コンクール」は30回目を迎えました。日照不足などで草花の生育が心配されましたが、美しい花を咲かせ、まちを華やかに飾り付けました。

今年度開催された「いきいき茨城ゆめ国体2019」では「花おもてなし」に取り組み、サルビアや日々草の栽培を行い、会場となった牛久運動公園では華やかに来場者を迎えました。

12月5日、水戸市でチャレンジいばらき県民運動のつどいが開催され「第47回花と緑の環境美化コンクール」の表彰式が行われました。このコンクールには県内から704件の応募があり、このうち27件が受賞したもので、ふれあい美花市民の会からは2団体が応募し、「かみや緑の里親元気クラブ」はフラワーロードの部で「茨城県教育委員会教育長賞」を「刈谷地区自治会」は団体職場の部で昨年度に続き「茨城新聞社長賞」を見事受賞しました。



◆第30回牛久市花いっぱいコンクール

会長賞	小坂花の会
特別賞	むつみ区民会
努力賞	かみや緑の里親元気クラブ、向台自治会、刈谷地区自治会
敢闘賞	東みどり野シニアクラブ、栄西シニアクラブ栄寿会、第八岡見カトレアの会、さくらの会、栄町シニアクラブ長寿会



1 かみや緑の里親元気クラブの栽培風景
2 茨城国体のために育てた日々草
3 「第47回花と緑の環境美化コンクール」表彰式

牛久市消防団の消防車が新しくなりました 第4分団(田宮)・第24分団(島田)

牛久市消防団第4分団(田宮)、第24分団(島田)の消防車が新しくなり、運用を前に12月15日、市役所で納車式を行いました。式では、根本牛久市長、山岡消防団長はじめ、田宮、つつじが丘、第2つつじが丘、島田行政区の皆さまが臨席し、第4分団、第24分団に新車が引き渡されました。これまでの消防車は、ともに、平成6年に配備されて以来、火災発生等の多くの災害に出動し、現場で威力を発揮してきました。引き続き、地域の皆さんとともに防火・防災の促進に活躍が期待されます。





ひたち野うしく中学校の 校章が決定！

下根中学校2年生がデザイン

今年4月に開校する、ひたち野うしく中学校の校章を、夏休みの課題として分離元の下根中学校の全生徒で考案、下根中学校の全生徒とひたち野うしく小学校の4～6年生の児童による投票で、下根中学校2年生の吉牟田芽希さんのデザインが選ばれました。

吉牟田さんは12月19日、市長を表敬訪問。「デザインは、鳥のモチーフとひたち野の『H』の文字を融合させたものを考えました。また学校と地域が手をつなぎ、支えあい、発展していくという意味や、調和、円満、団結も表しました」と校章に込めたたくさんの想いを語りました。



晴れやかな門出 大人への誓い

令和2年牛久市成人式

1月12日、令和2年牛久市成人式が行われ、牛久市では、840人が大人の仲間入りをしました。会場となった中央生涯学習センターでは、振袖やスーツを着た新成人たちが旧友との再会を喜び合う姿が見られました。新成人たちは「就職が決まったので仕事を頑張りたい」「みんな健康でいてほしい」など、今後の抱負や願いを聞かされました。また、式典では成人式実行委員長の下川諒也さんが、「牛久と全ての人に感謝し、大人として自覚と責任を持ちたい」と誓いの言葉を述べました。



今月の

たいへんよくできました

だいにようちえん

とも

第二幼稚園のお友だち



さくらぐみ

みんなでたくさんお餅を「ならせ」ることができました！「楽しかった！」とニコリ。



だいにようちえん とも
第二幼稚園のお友だちは、茨城の伝統行事の「ならせ餅」を体験しました。順番に杵を持って、ふかしたもち米を「よいしょ！」とつくところから挑戦。できたお餅は小さく丸めて、紅白の「ならせ餅」にし、一年間の健康を願って、みんなで木の枝に次々とつけていきました。用意された杵は地元の大工さんが縁起の良い松の木で作り、子どもたちに送られたもの。

今年も良い一年になるといいですね。

